

ごみの分別にご協力をお願いします

分別ごみで間違えやすいポイント！



日ごろからごみの分別にご協力いただき、ありがとうございます。6月の環境月間に町内分別ステーションの巡回を行いました。その中で、気付いた点、特に間違いの多かった点を紹介します。

間違えやすい分別区分

その① 飲食用缶のふた

「その他のアルミ」と「その他金属」が混ざっているものがありました。

アルミ製のふたは「**その他のアルミ**」
金属製のふたは「**その他金属**」へ出
しませう。

アルミ製か金属製かはマグネットを利用して確認してください。マグネットは当番の人が持っている場合があります。



マグネットに引っつくものが金属製です

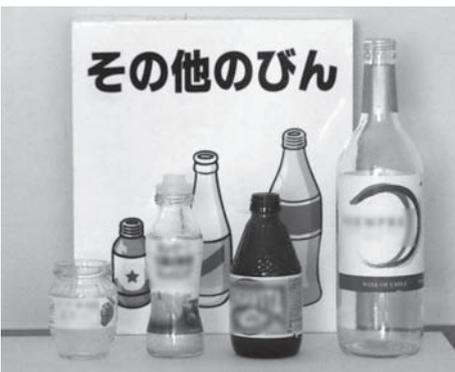
間違えやすい分別区分

その② 瓶^{びん}

薬の瓶は「**陶磁器・ガラス**」へ
出してください。ドレッシングなど
の**飲食用瓶**は「**その他のびん**」へ
出してください。

ただし、洗っても汚れが取れないものは「**陶磁器・ガラス**」へ出してください。

化粧品の瓶も
「**陶磁器・ガラス**」だよ！

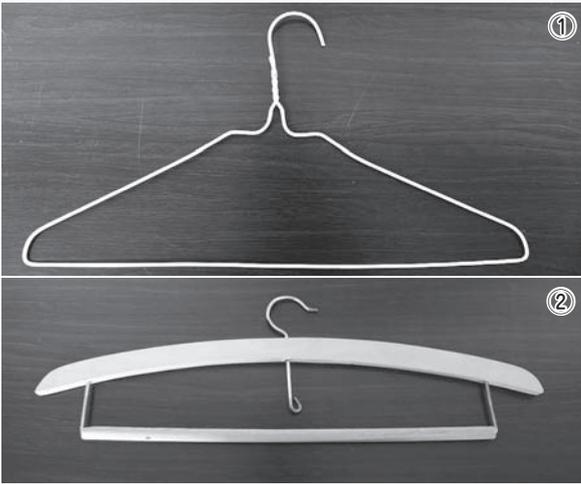


間違えやすい分別区分

その③ ハンガー

ハンガーは、ビニールと金属の混合したものと、木材と金属が混合したものがあります。どちらのハンガーも複合素材でできているため「**その他不燃ごみ**」へ出してください。

ただし、大半(50%以上)が金属でできているものは「**その他金属**」へ出してください。



①金属にビニールのカバーがしてあるもの
②金属に木製の加工がしてあるもの
ともに「**その他不燃ごみ**」へ出してください。



プラスチック製のジョウロ、バケツなどは「燃やすごみ」に出してください。ただし、燃やすごみの指定袋に入らない大きさのものは「粗大ごみ」に出してください。

間違えやすい分別区分

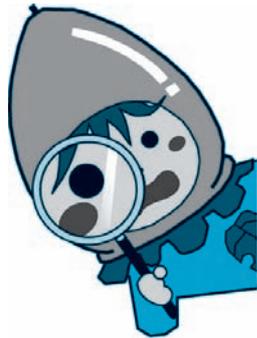
その④ プラスチック製品

写真のようなプラスチック製品が分別ステーションに多く出されています。**プラスチック製品は「燃やすごみ」**へ出してください。

なお、プラマークが付いているコンビニ弁当の容器やシャンプーのボトルは「**プラスチック製容器包装**」へ出してください。ただし、汚れが取れないものは「**燃やすごみ**」へ出してください。



プラマーク



ほかにも電球が「**蛍光管**」の「コンテナ」へ出されていたり、紙パックや段ボールが「**ミックスペーパー**」へ出されていたりしたよ。
電球は「その他不燃ごみ」で、紙パックや段ボールは子ども会などの団体が行っている「**資源回収**」や月に1回町指定場所で実施している「**資源拠点回収**」へ出してね。

分別ごみは再資源化されます。限りある資源の有効活用のため、分別にご協力をお願いします。



よろしくおねがいします!



問合せ

環境課ごみ対策グループ
☎ 62・1111 (内線273)
FAX 63・5169

こらた 建築減災 プラン

住宅倒壊から人命を守るためのプラン

住宅や建物の耐震化率を95%とし、残る5%を減災化！

町では、耐震改修促進法に基づき策定した「こらた建築減災プラン」の中で平成32年度までの住宅の耐震化率目標を95%とし、そのほかの住宅についても減災化の対策をしていただくことで、住宅倒壊により命を落とす人が「ゼロ」となるよう取り組みを進めています。

必ず起こる巨大地震！

幸田町を含むこの地方に大きな影響を与える南海トラフ巨大地震は、今後30年の発生確率が70%と言われています。

地震は同じ震源において繰り返し起きています。南海トラフを含む地域においては100年程度の周期で発生しています。1944年の昭和東南海地震（M7.9）や1946年の昭和南海地震（M8.0）が最後に起きた巨大地震であり、発生から約70年が経過しています。

70%という数字は目を追つことに上昇していく数字です。「いつ起こるか」は誰にもわかりませんが、近い将来、必ず起こります！

迫る！南海トラフ巨大地震



南海トラフの中でも、東海地震は前回の発生から160年以上も期間があいているから、発生が危惧されているんだね。



自宅の地震対策は

進んでいますか？

確かに地震は心配だけど…「具体的には何もできていない」「何から手をつければいいのかわからない」「そんな人



出典：気象庁「東海地震発生の切迫性」

が意外と多いのではないのでしょうか。
町では耐震化、減災化に向け気軽に利用できる相談会など、さまざまな取り組みを行っていますので、今回はその制度などについてご紹介します。

耐震改修に関する相談窓口

①耐震化アドバイザー協議会主催の無料耐震改修相談会

町の無料耐震診断を受けた人を対象に、耐震改修に関する個別の相談会を開催しています。耐震改修の専門家「NPO耐震化アドバイザー協議会」に主催していただき、改修に関する具体的な手法、費用などの相談ができます。この相談の場を利用して、町の耐震改修費補助金を活用しながら改修を行った人もいます。

②幸田建築行政会の無料建築相談

町内の建築関係事業者の団体である「幸田建築行政会」から2人の相談員を派遣します。地元を知る建築士などが実際の建物を見ながら相談を受けるので、より細やかな相談対応が可能です。

この建築相談については、耐震以外

の建築に関わる全般についても相談ができますので、ぜひお気軽にご利用ください。

地震対策の第一歩！

何よりも、まずは耐震診断！

「地震に対して備えること」のスタートは、ご自宅の現状を把握することです。町では木造住宅の倒壊の防止や安全を確保し地震に強い安全なまちづくりの推進を図るため、**無料で耐震診断を実施していますので、ご利用ください。**

耐震診断後の結果報告の際には、耐震改修をした場合にかかる費用の目安についても知ることができます。その費用などを参考に、ご自宅の今後について検討ください。



* 在来軸組構法または伝統構法で昭和56年5月31日以前に建築された2階建て以下の木造住宅で、就寝する部屋があるものが対象です。

町の補助制度を使って安心安全！

今後の計画が決まったら、その計画に対し補助金の活用ができる場合もあります。

①今の家には愛着があるからなんとか住み続けたい！ → 耐震改修費補助

木造住宅の耐震改修工事費に最大で120万円の補助を実施しています。ご自宅のリフォームをされる際に活用する人が多いです。

②耐震化はしたいけど、まとめて大きなお金を出すのは難しい！ → 段階的耐震改修費補助

木造住宅の段階的耐震改修工事費に最大で60万円の補助を実施しています。ご自宅の状態によっては改修に多額の費用が必要となる場合があります。その際、段階的に改修を進める場合に活用ができます。

③安心して眠れる部屋や逃げ込める空間が欲しい！ → 耐震シェルター整備費補助

木造住宅に耐震シェルターを整備する場合30万円の補助を実施しています。高齢者や障がいをお持ちのご家族がいる世帯が、愛知県が認定している耐震シェルターを計画する場合に活用ができます。寝室として利用を考える人が多いです。

④建替えたい！まずは更地にして検討したい！ → 除却費補助

倒壊の恐れのある大きい木造住宅を除却する工事費に最大30万円の補助を実施しています。

* ②、③、④については町の無料耐震診断を行い、判定値が0.4以下と判定された住宅に限る。

いざという時、後悔しないように… 今考えよう！おうちのこと

問合せ 都市計画課 計画整備グループ (内線 221) FAX 63 - 5129

